



▲西岡東近江警察署長(写真右)から
町民を代表して賞賛状を受ける藤澤町長

12月19日(月)、役場正面
玄関前で、日野町交通事故死
事故ゼロ900日達成式が
行われ、東近江警察署から
日野町の皆さんに対して敬

交通事故死事故ゼロ900日を達成しました

意と感謝を表すための賞賛
状が贈られました。

日野町では、平成21年6
月26日から平成23年12月13
日まで、交通事故死事故ゼロ
が900日継続されており、
その偉業が評価されたもの
です。

また、式典の中で、日野幼
稚園の子どもたちによる「東
おうみ交通安全のうた」も
披露されました。

今後、町が一体となっ
て交通安全に努めていきま
しょう。



▲日野幼稚園児たちによる歌の披露

善意の贈り主様 まごころのお米 ありがとうございます



▲役場に届けられた心温まるお米

12月16日(金)の朝、役場玄関前に30 kg
入りの米袋が3袋積んであるのを出勤
した職員が見つけました。

贈り主は分かりませんが、約30年もの
間、毎年この時期にお米3袋を届けてく
ださっています。

「善意の贈り主様」として、お礼状をつ
けて玄関ロビーにしばらく展示した後、
日野町社会福祉協議会へお渡ししました。
まごころのこもったお米は、「歳末たす
けあい運動」のひとつとして、町内の方々
へ配付されました。

心温まる贈り物をありがとうございます
ます。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

元日の朝、
村人がそろつ
て氏神さまに
お参りする新
年拝賀式。一
年の平安をお
祈りし、挨拶
を交わします。
脈々と続いて
いる村の行事。村の構成員である
こととその役割を果たすことを
自覚します。ここに「自治」の原
点があるのだと思います。

2日は、南比都佐公民館主催の
新春マラソン大会に参加。子ども
から高齢の方まで町内各地から
参加した人たちと氷雨の中を元
気に初走りしました。家に帰ると、
テレビでは箱根駅伝が放送され
ていました。昨年優勝を逃した東
洋大学が雪辱を果たそうと力走。
注目の第5区箱根の山登りは、東
洋大学の選手が区間新で4年連
続の区間賞。彼の出身は福島県い
わき市、その名は「柏原竜二」。被
災地出身の「竜二」という名の青
年が干支にちなんで竜の如く箱
根の険しい山道を駆けのぼる姿は、
多くの国民に勇気と感動を与え
ました。「僕が苦しいのは、たつ
たの1時間ちょっと。福島の人を

思えば、全然きつくない」「被災
地の人たちが」少しでも勇気が出
たと言ってくれるなら本当にう
れしい」と語りました。チームの
絆をタスキでつなぐ駅伝が多く
の国民の心をつなぐ絆となりま
した。

8日は成人式。恒例の新成人が
実行委員として開催する成人式
は今年も温かいものとなりました。
そして、被災地から届く新成人の
言葉と同様に「多くの人に支えら
れて生きてきた」「人の役に立つ
大人になりたい」「故郷に恩返し
がしたい」との新成人の誓いの言
葉が胸を打ちました。

今年は何をすべき年なのか。答
えは明らかです。みんなが助け合
って生きる社会を本気でつくる
ことです。若者の間に、そして国
民の間に広がった「力を合わせて
苦難を乗り越えよう」という思い
に真っ直ぐに応える政治をつく
ることです。めざす社会は、強い
もの勝ちの社会ではなく競争原
理至上主義の社会でもなく、コッ
コツと真面目に生きる国民の暮
らしに光の当たる温かい社会です。
古い政治への逆戻りに抗して歴
史を前に進めるのは国民みんな
の力です。